

福井県におけるハチクマの繁殖初記録

池田善英¹・松村俊幸²・小川 悟

日本海ワシタカ研究会. 〒921 石川県金沢市八日市3-210 池田善英方

はじめに

福井県ではハチクマ *Pernis apivorus* は夏鳥とされているが(福井県生活環境部自然保護課 1982), これまで春と秋の渡り以外には詳細な観察記録はなかった(小嶋 1991, 池田ほか 1992a). 北陸地方においてハチクマの繁殖が初めて確認されたのは, 1991年の石川県で(池田ほか 1992b), 富山県でも 1993年(池田善英 未発表)に確認されたが, 福井県ではまだ確認されていないかった.

筆者らは, 1994年 8月に福井県で初めてのハチクマの繁殖を確認したので報告する.

本文に先立ち, 現地調査に協力していただいた, 希少猛禽類研究センター - の池田真弓, 日本海ワシタカ研究会の堀本尚宏・篠田耕児・小嶋明男・遠間康裕の各氏に深謝する.

調査地および調査方法

調査地域は, 石川県境に近い福井県金津町と丸岡町の丘陵帯である. 調査地域一帯は, コナラ *Quercus serrata* を主とした二次林で, スギ *Cryptomeria japonica* 植林や近年伐採された低木林などのほか, アカマツ *Pinus densiflora* 林も多い.

営巣地の探索は, 巣内ピナへの親鳥による食物の運搬行動を定点調査により観察して営巣地域を推測し, それに続き現地踏査を行なった. 行動観察の際には, 翼の欠損による個体識別のほか, 複数定点からのトランシ - バ - をもちいた連係観察を行なった.

調査地域におけるワシタカ類の生息状況調査は, 1993年 11月から毎月行なってきたが, 調査地域内でハチクマの渡来を確認した 1994年 5月以降, ハチクマを対象とした調査は, 8月15日までにのべ20日間(のべ56名)行なった.

営巣の確認

調査地域でハチクマの渡来を確認したのは 1994年 5月 8日であった. その後, 特徴のある波状飛行も頻りに観察され, 調査地域一帯に 2つがいの生息が確認された. 7月 8日には, 雄成鳥 1羽が金津町と丸岡町の境界にあたる丘陵地へ食物を運ぶのが 1回観察された. 8月 1日には, 食物を運びこんだ林の周辺で止まっているのが頻りに観察され, 丘陵地のスギ林への食物の運搬も 4回観察された. 同日午後より, 地上からの目視により営巣木の探

1995年 12月 16日 受理

キ - ワ - ド: 営巣環境, ハチクマ, 繁殖記録, 福井県

1. 希少猛禽類研究センター. 〒921 石川県金沢市八日市 3-210

2. 福井県自然保護センター. 〒912-01 福井県大野市南六呂師169-11-2

索を行なった結果、スギの大木に巣が発見された。巣内には1羽の巣内ピナが確認された。営巣木の下には、ハチの巣が2つ落ちており、巣材として運び込まれたと思われるアカマツとコナラの枝も落ちていた。

8月8日の夕方に営巣状況を調査した結果、巣内にはヒナが1羽伏せていた。営巣木の下には、8月1日の発見時にはなかったハチの巣が10数個落ちていた。石川県で初めて繁殖が確認されたハチクマの営巣地では、幼鳥の巣立ち後に巣に登って巣内を調査したところ、ハチの巣の残骸が巣内に多く残っていた例がある。したがって、巣立ち前に羽ばたきの練習が盛んになった結果、巣内に残っていた巣の残骸が落下したと思われる。8月12日の朝に営巣地を訪れたところ、営巣木の近くで激しい鳴き声が聞かれ、林内を飛びまわる幼鳥1羽を確認した。8月15日にも営巣林内で調査を行なったが、成鳥も幼鳥も観察されなかった。

なお、翌年の1995年7月に同地域での営巣状況を調査したが、同じ木には営巣されていなかった。

営巣環境

幼鳥も巣立ち、繁殖個体への影響がほとんどなくなった8月15日に、営巣環境の測定を行なった。営巣地域は、標高130～140mの丘陵地に、南向きに入り込んだ谷奥に植林されたスギ林であった。巣の架けられていたスギは、北西向きのスギ斜面林の最上部の標高約90m地点にあり、周辺のスギの中ではやや高い木であった。

営巣木は沢状の斜面にあったが、営巣木を境に上下で斜面植生は異なっていた。営巣木を含む下方斜面は傾斜29度、高さ約30～35mのスギ植林で、亜高木層と低木層を欠いていた。上方斜面は傾斜34度、高木層は高さ20m程度のコナラを主とし、ヤマザクラ *Parunus donarium*、アカシデ *Carpinus laxiflora*、カラスザンショウ *Fagaria ailanthoides* などが混じっていた。低木層は高さ2m程度のヒメアオキ *Aucuba japonica* やヒサカキ *Eurya japonica* などからなっていたが、亜高木層は欠いていた。

営巣木の樹高は33.0m、胸高直径は67cmであった。巣は地上からの高さ21.5mで、上方斜面のコナラ林の樹冠部の高さに相当していた。巣は幹から南西へ張り出した横枝の付け根部分に架けられていた。スギの下枝が視界をさえぎるため、ヒナがいないと巣とは確認できず、巣の外径等は目測でもわからなかった。巣材は、コナラ、アカマツ、スギ、アカシデが確認された。

引用文献

- 福井県生活環境部自然保護課(編). 1982. 福井県の鳥獣. 福井県, 福井.
- 池田善英・小嶋明男・松村俊幸. 1992a. 福井県和泉村において観察されたハチクマの秋の渡り. *Ciconia* 1: 23-27.
- 池田善英・須藤一成・真崎健. 1992b. 石川県加賀地方におけるハチクマとオオタカの繁殖初記録. *Strix* 11: 353-355.
- 小嶋明男. 1991. 三方五湖のタカの渡り. *Birder* 5(10): 27.

First breeding record of Honey Buzzards in Fukui

Yoshihide Ikeda¹, Toshiyuki Matsumura² & Satoru Ogawa

Nihonkai Working Group on Birds of Prey. 3-21. Yokaichi, Kanazawa, Ishikawa 921.

A nest site of Honey Buzzards *Pernis apivorus* was found in Fukui Prefecture for first time, on 1 August 1994. A nestling found in the nest was fledged between 8 and 12 August. The Honey Buzzards nest was in Cedar *Cryptomeria japonica* 33.0 m high with DBH of 67 cm at 90 m a.s.l. The nest was built on a branch near the trunk, 21.5 m above the ground.

Key words: breeding record, Fukui Prefecture, *Pernis apivorus*

1. Rare Raptor Research Center, Yokaichi 3-210, Kanazawa 921

2. Fukui Nature Conservation Center, Minamirokuroshi, Ono 912-01